

2週間先までに平年より高温となるかどうか調べ、水稻の高温対策を調べる場合の流れを紹介します。

【STEP 1】 気象要素を選択

ポータルサイトのトップページの「高温」をクリック。



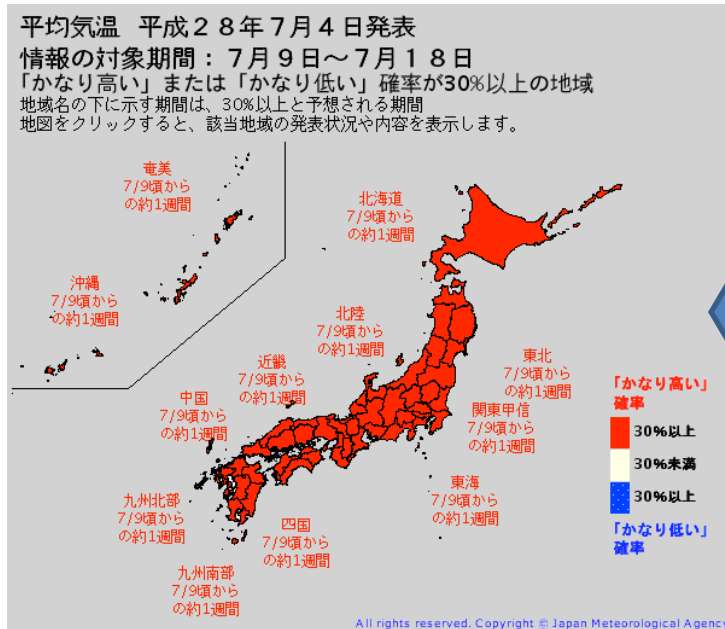
【STEP 2】 知りたい時点の気象情報を選択

「～2週間先」の「異常天候早期警戒情報」をクリック。



【STEP 3】 気象情報を見る

14日後までに、**気温が平年よりかなり高くなる**かが分かります。

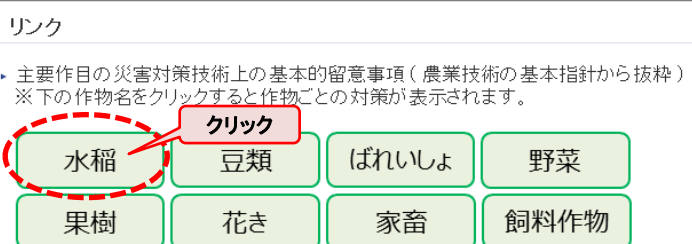


気象情報への理解を深める

- ◆ 各気象情報と用語の解説のほか、利用上の注意等が記載されています。

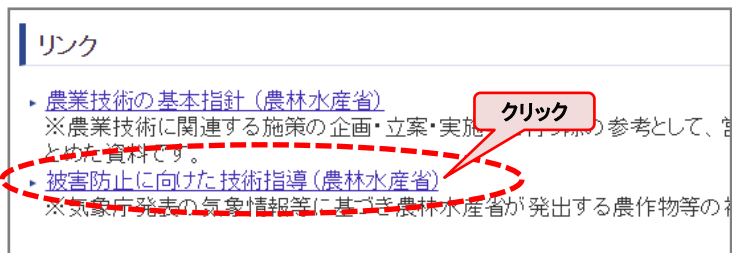
【STEP 4】 対策を調べる

STEP2で表示した「高温」ページ下部「リンク」の「水稻」をクリックすると**水稻の高温対策における留意事項**が表示されます。



【参考】 農林水産省の技術指導通知

ポータルサイトのトップページから、気象庁の気象情報等に基づき発出された**被害防止に向けた技術指導通知**を閲覧できます。



【 気象情報の適切な利用のために 】

気象情報は、様々な特性を持っています。
利用したい気象情報がどういった特性を持っているかを理解して使うことが大切です。



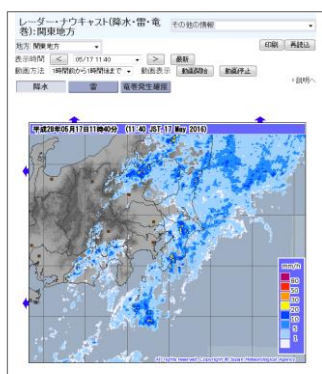
一般的な留意点

- ◆ 予報は、随時または定期的に更新されます。
過去に発表されたものではなく、最新に発表されたものを利用しましょう。
- ◆ 気象情報には、その時々によって程度の異なる誤差が含まれる場合があります。
- ◆ 気象情報毎に対象とする気象現象が異なります（例えば、季節予報で竜巻の予報はできません）。

豆知識

- ◆ 予報時間が長くなると、一般的に、気象情報の時間や空間の単位は粗くなります。
- ◆ 予報時間が長くなると、一般的に、気象情報は確定的な表現から確率を用いた表現へ変わります。

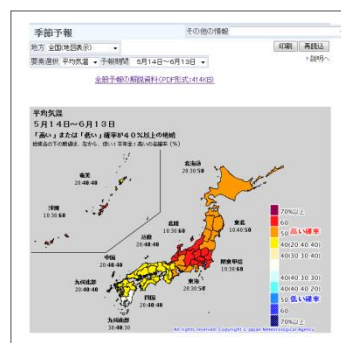
(例)



降水ナウキャストは、60分先までの降水を1km毎に“何mm/h”と予想します。

1か月予報は、1か月先までの気温を地方毎に“平年より高い確率が何%”と予想します。

- ◆ “平年より高い”は、1981年から2010年まで30年間の観測値（夏の平均気温など）を数値順に並べて、大きい方から10番目までに相当する場合です。



【 営農活動における気象情報利用例 】

低温対策

【利用する気象情報例】
低温注意報、天気予報 など

【技術対策例】
深水管理、中耕・培土の管理など

降雨対策

【利用する気象情報例】
警報・注意報、天気予報など

【技術対策例】
ほ場内排水溝の点検など

高温対策

【利用する気象情報例】
高温注意情報、天気予報など

【技術対策例】
窒素の追肥、出穂後の通水管理など

降雪対策

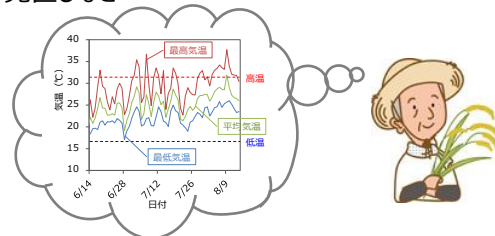
【利用する気象情報例】
警報・注意報、天気予報など

【技術対策例】
パイプの撤去や除雪など

作付計画の策定

【利用する気象情報例】
日平均気温、日最高気温、日最低気温、日照時間などの過去の気象データ

【利用例】
気温や日照時間などの履歴による栽培適地の判定、気温や降水などの履歴による栽培管理の見直しなど



～ 気象情報の入手先 ～

- ✓ 気象庁ホームページ：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ✓ 各地の気象台等のホームページ：<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/link/link1.html>
- ✓ テレビ・ラジオ等による放送、民間による気象サービス等

～ 営農活動に役立つ情報の入手先 ～

- ✓ 農林水産省のホームページ <http://www.maff.go.jp/>

【本資料に関する問い合わせ先】

<気象に関する内容> 気象庁総務部情報利用推進課（上野、熊谷）TEL:03-3212-8341（内線：2286）

<農業に関する内容> 農林水産省大臣官房政策課技術政策室（小宮、石場）TEL:03-6744-0415